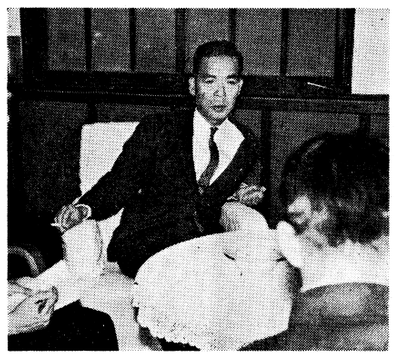
向陽新聞
高知市塩屋崎町1の2
土佐中・高校新聞部
編集人　大原　悟
発行人　植田　信広
印刷　高知印刷

写真
TEL ②6758
大丸東入口前
高橋

校長に聞く
過渡期の本校、その行方

新築後の教育
各方面に伸びる人間を
考えてない先生の若返り

四月から新たに生徒一人あたり月七百円の校舎新築協力金が集められ始めたが、このように校舎新築問題が表面化するにおよび、本校新築後の教育方針が各方面から注目を浴びはじめた。しかし一方、生徒や同窓の一部では「学校は新築にかまけてしまうのではないか。」「私学ブームの去りつつある現在、本校も早急に進学その他の面で強い対策を打たねば、新築しても単に校舎を建てたというだけに終わってしまう。」との声が聞かれ、過渡期にある現在の本校のあり方も問題になってきたようだ。新聞部では去る六月十七日、曽我部校長と対談を試み、これらの問題に対する校長の考えをお聞きしてみた。


記者の質問に答える校長

新築まで
我慢してほしい！

問　校舎新築に関して本紙に寄せられた投書にお答え願いたい。投書の大部分が「新築も結構だが、その前に現在の暗い教室にもっと蛍光燈をつけ、不衛生な西便所をきれいにしてほしい。特に蛍光燈は生徒の目に直接影響するので早く何とかしてほしい。」というものだが。

答　蛍光燈はやむをえない場合は手入が限度だと思うが、合理想をいえばきりがない。遠い将来何とか千人くらいまでへしたいとは考えているが。

問　一クラスあたりの人数についてはどうか。

答　六十名では多すぎることは認めるが、現在、それほど不都合な点はないようなので、そのままにしている。新築後もこの方針でいく。どうしてもというなら四十名位にしてもよいが、そのかわり今の授業料ではやっていけない。

問　新築までに教室数が足りなくなるのではないか。

答　集会室、それに柔道、剣道の道場なども教室にわりあてるから大丈夫だ。

問　その場合、柔道部や剣道部はどうなるのか。

答　気の毒だが、新築までは外部で練習してもらうことになろう。

問　それでは勉強、運動、礼節という本校の三本の柱のうち、一本が欠けることになると思うが。

答　何も運動ばかりではない。授業でも不満足な点が出るかもしれない。何ぶん過渡期なのだからがまんしてほしい。

問　もうひとつ、いたずらに生徒数をふやせば全体のレベルが低下するおそれがあるのでは。

答　まず、ないだろう。そのようなことは気にしていない。

問　校長ご自身、常日頃口にされている人間教育という面から、一九八〇名という人数は少し多すぎるのではないか。

答　校長、教師の数は生徒数に比例するものではない。生徒数が増えれば、それだけ教師の数も増えるのだから、一九八〇名でも三百名でも教師の数は変わらない。

問　校舎が増えれば、それだけ管理面の手数がかかるのでは。

答　管理面は増え

本誌座談会

若者らしく 情熱をもって歩もう 文化祭 マンネリ打破を

土佐校生大いに語る

本校は〝名門校だ〟と言われて来ました。世間の本校を見る目はこの〝名門校〟という言葉に集約されるようです。そのいわゆる、〝名門校〟で教育を受け、学生々活を送っている私達にははたして不満が無いのでしょうか。いや、先生の老齢化の問題、文化祭、生徒会、校舎新築など具体的な問題や、さらに教育方針など多くの不満があります。今回は八人の生徒の方々に集まっていただいて、大いに語り合っていただきました。

出席者（敬称略）
西内　正気（三Ｔ）
竹村千鶴子（三Ｈ）
山本　博憲（二Ｋ）
寺尾真理子（二Ｋ）
仲井　徹（一Ｔ）
長野　礼三（一Ｔ）
芝　義純（三Ｂ）
西村　元弘（三Ｂ）

――それでは、まず文化祭について。文化祭を二年に一回にするという案を学校側が持ち出して来て執行部などとり合っているようだ。この間の総会では西内さんが話を出したが……。

西内　僕の納得できないのは、学校側の説明が不充分だということだ。なぜ文化祭が二年に一回ではいけないのか。その悪い所が、二年に一回にすればどういうぐあいに改善されるのか、ということの具体的な説明がないからね。

竹村　私は今まで、ステージで自分でやってきたから観客として見た事は無いけど……でも、やっぱり下級生にやらしてやりたい。

芝　でも、展示の方なんて、これといって見たいものもないね。

西村　毎年同じものばかりみたいな気がする。

山本　部の性格で、展示に不向きな部もあるのに、そんな事なんてまるで考えてないみたいだ。矛盾だよ。

西内　今度のことも、毎年変わりばえしないから、先生方があきてきたのかもしれない（笑）

西村　この前の文化祭のとき、一般生徒の参加について何とか騒いでたようだけど。

――結局、学校側にフラレタわけだ。ずっと前にそんな事もやってたらしいけど、延々八時間にわたったりして収拾がつかなくなってやめたんだそうだ。

西内　それにエレキが出て来るかもしれない……なんで学校側が心配したんじゃないのか。ところで展示の方はともかく、ステージ関係の方は、一年に一回やってもらいたい。一般生徒も加えて。僕らが小学生の頃の学芸会。楽しかったね。文化祭もあんなにすればいい。文化祭とは一般生徒のものでもあるはずだ。学校全体の文化向上のためにも、一般生徒の参加を認めてもらいたい。

芝　でも、やっぱり文化祭の中心は文化部であるべきだ。

竹村　文化部の発表の場というのは絶対に必要だと思う。ここで皆に聞いてみたいんだけど、マンネリっていうのはどういうこと。

西内　マンネリという言葉自体がマンネリだね。（笑）

山本　あまり目新らしいものもないし……。

竹村　私たちは全力でやってるつもりなんだけど……顧問の先生なんかがワクをしたりして……。

――昨年の文化祭を見てどう思いましたか。

西内　そう言えば、この前は日舞があったね。

竹村　日舞には色々な流派があるんだけど、あれはレッキとしたもの。わざわざ月謝を出して習いに行って……（笑）見る方にしてみればばかして変わりはないかもしれないけど。

西内　この前は珍らしかった。とにかく、今までと同じ形式であっても、各部が研究しさえすれば、内容的に抜け出せると思う。

西村　数が二倍になったって全然変わりがない。

山本　学校はただ単に、金を出すのが惜しくて二年に一回にしたような気もする。（笑）

西村　そういえば自動車部なんか自動車の宣伝やってるみたい。（笑）

西内　毎年、ゴーカートを作ろうという案もあるが、校長が〝危いから〟と言って止めてくる。

竹村　なんにしても発表することは楽しい。でも、自分たちが考えていなくても、人に押しつけることになる。中学生にはちょっとムリかもしれない。

芝　ブショク！（笑）

寺尾　学校側からは、中学生向きのものと高校生向きのものとを作るのに長い期間かかるから、というのも二年に一回の理由として上げられてるけど。

山本　演劇なんか、二つっていうのはムリだよ。（笑）

西内　見る方の心構えも必要だ。まあ、この座談会に出席している人たちはいいと思うけど。（笑）

仲井　去年の演劇の時なんか、みんなシーンとしてた。

山本　そう、この前の「夕鶴」なんて良かったよね。舞台でやるものは、やっぱり展示よりもグッと胸に迫ってくる。

西内　なにしろ、こちらの頭が単純だから、展示の方を見てもわからないし……。（笑）

――それでは、この辺で話題を変えて、土佐校というものに対してどう感じますか。

芝　時々感じるんだけど、土佐校の生徒は、土佐校生というレッテルだけをつけて歩いてるみたい。

西村　プライドは必要だ。

山本　プライドなんて土佐校に対して感じられるかい。

長野　僕は感じる。

西内　土佐校生の場合、学校そのものに対してはプライドはないけど、自分に対してはある。という感じだね。

芝　思い上がってる。

竹村　私はあまり、本校の先生に対して魅力を感じない。ある先生なんかはっきりと〝首をつなぐために教えてるんだ〟なんて言ったっていうし……。

西内　ここで言いたいことがある。本校の先生の中で、本当に生徒を教育しようとしている人が何人いるだろう。

西村　今は大学進学のことしか。

西内　きみたち、土佐校にはいってから〝自分は教育された〟と思ったか。

全員　あまり思わんね。

長野　もっと人間教育らしいものをやってほしい。

西村　H・Rなんかの時も、先生がまるっきりノー・コメントみたいな調子。

――全体に、先生方に意欲がうかがえないということだね。一部には〝先生全体が老齢化しているからだ〟っていう声もあるけど。

西内　いやいや、年寄りの先生ばかりでなくて、若い先生もタッスイよ。でも熱心な先生もいる。年をとってもわれわれ生徒を圧倒してしまうような……。（同感の声）

山本　それでも若い先生は欲しいね。

西内　ところで、その先生だけど高三になってみると、すごく真剣にやってくれるね。

竹村　どうしても大学へ……というんじゃないかな。今までは……自分のせいかもしれないけど、先生が真剣にやってくれてるって感じなかったものね。

西内　この学校へ来てからはじめて、真剣な授業を受けているような気もする。

竹村　勉強もグッと楽しくなってきた。（笑）

――教育の話が出てきたところで、土佐の教育方針は何だと思う。

山本　大学合格率上昇！

芝・西村・仲井・長野　はっきりわからん。

芝　教育方針云々よりも、今の校長先生なんかすごく遠い世界にいるような気がする。

仲井　前の大鵬校長なんかすごくこわがられて……そしてしたわれてたって聞いたけど、今は何か僕たちとは別世界にいるような……。

――たしかに生徒に良くも悪くも影響を与えていないね。それが土佐の教育方針がわからない、という所に通ずるのかもしれない。それなら、生徒は何を望んでこの学校へ入ってきてるんだろう。

芝　大部分は大学進学じゃないのかな。

西内　本当の教育を……っていうわけじゃない。

山本　僕なんか絵を画きたくて来たんだけど、そんなヒマないね。

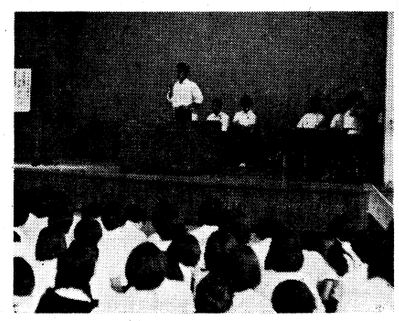
――それなら、今は何を望んでいるのか。

仲井　マンネリマンネリっていうけど、名物ってものはあるね。たとえば茶道部のお菓子とか、化学部のジュースとか（笑）

竹村　とにかく、部の方も今のままではいけない事は認めるけど、生徒の方ももっと文化祭というものを考えてほしい。

わからない教育方針

若い先生が欲しい！



西内　人数を少なくして家庭的なフンイキを作ってもっとなごやかなものがほしい。

山本　たしかに今は友人関係なんか育ちにくいよ。それにもう一つ男女はやっぱり半々がいい。

仲井　いや、男子学校でもいい。もう一つ、寄宿舎がほしい。（笑）

芝　やっぱり共学がいい。（笑）

西内　新築の時には寄宿舎のことも考えてほしいね。

――生徒会に対してはどんな風に考えているか。

西村　選挙の時、組織票なんていうのがあるけど、すごくイヤな感じだ。〝こんな選挙で選ばれたやつの言うことなんか……〟と思ってしまう。

仲井　そう言えば、高校の選挙も少々ウザケテるね。中学だけだと思ってたのに。

西内　その通り。今の生徒会なんてフザケにすぎない。選挙の時も〝あいつはなる価値のある男だ〟なんて感じが無い。〝だれがなっても同じだ〟なんて感じてるんじゃないか。今は会長も、委員長もなんて感じが無い。〝だれがなっても同じだ〟なんて感じてるんじゃないか。今は会長も、委員長もなんて感じが無い。〝だれがなっても同じだ〟なんて感じてるんじゃないか。今は会長も、委員長も

運動部かく戦えり

◇剣道部

五月十五日の春季剣道大会では中学は団体優勝、個人戦では、倉知君が二位を獲得した。

六月十二日には、県下武道大会が行なわれ、中学団体優勝、個人では山下君が一位、倉知君が三位であった。

◇軟式庭球部

五月一日の市体で、山崎（三Ｂ）国沢（三Ｃ）組が優勝、酒井（三Ｄ）上村（三Ｄ）組が二位、清水（三Ｂ）溝淵（三Ｃ）組が三位と上位を独占していた。

六月十二日の県中学校軟庭春季選手権にも、一位柳原（三Ｂ）芝（三Ｂ）組、二位山崎・国沢組、三位清水・溝淵組と、他校の注目を集めていた。

高校も、五月三日・五日のインタ・ハイ県予選で、西村（三Ｎ）滝石（三Ｋ）組、小松（一Ｏ）坂本（一Ｏ）組の二チームが、八月に青森で開かれる決勝戦に出場することになった。

市体兼都市対抗予戦は五月八日に行なわれ、西村・滝石組が優勝小松、坂本組が三位であった。その二組が五月二十八日に松山で開かれた都市対抗四国予戦に出場しその結果本県は二位であった。

◇硬式庭球部

四月二十九日に市営コートで市体が行なわれ、中学シングルで中の中一は態度がフトイね。（笑）

西内　いや、フザケが主だ（笑）ところで、ナゴヤカと言えば、今高三なんか、すごくナゴヤカだ。

長野　まるで友達あつかいだものね。僕らが中一の時なんて高三なんかすごくこわかったのに……。

西内　そう。高三は高三として一目おいていたように思う。

山本　いやいや。くらしにくい。

西内　もう最近は早く出たいね。

山本　出るとしたらクラス・メートと別れることになるけど。今の

西内　ここで、ナゴヤカだ。

寺尾　私なんか、今の高三の方にも一目おいているつもりだけど。（笑）

長野　とにかく昔みたいにキビシイ感じはないね。

仲井　これも時代の違いか（笑）

竹村　土佐には笑いがあるね。それに〝自由〟だって気がする。

西内　生徒会や新聞部が色々言えるだけでも自由だね。

山本　言うだけじゃなくて、実行しなきゃね。

◇卓球部

四月二十九日の市体で一回戦高知中、二回戦付属中、三回戦城西中と勝ち抜き、優勝戦で城北を三対一で破り優勝した。

高校は三回戦で小津に敗退。今度は中学にまけないような成績をと、はりきっている。

◇水泳部

四月二十九日に行われた四国プロック室内選手権に参加し、田辺君が（二Ｃ）が五十秒背泳を三十四秒一で優勝、大野・堀川（二Ｋ）組が三位であった。

インターハイ県予選は、五月十四日、十五日に行なわれ、中学二百背泳で田辺君が、木村君がそれぞれ全国決勝戦に出場することになった。

◇ハンド部

六月五日に春季総合選手権が開かれ、一回戦小津、二回戦須崎工と勝ちぬいたが、結局準決勝戦で高知クラブに十八対十二で敗れた。

六月十六日にはインターハイ四国予戦が行なわれ、一回戦は不戦勝、二回戦は中村高、準決勝西高校、決勝戦追手前高校を破り優勝した。今度の試合で七月二十三日に松山、八月二日に盛岡へ行くことが決まり、部員は一層練習に励んでいる。

◇陸上部

四月二十九日の市体で一回戦高知中、二回戦付属中、三回戦城西中と勝ち抜き、優勝戦で城北を三対一で破り優勝した。

高校は三回戦で小津に敗退。今度は中学にまけないような成績をと、はりきっている。

◇水泳部

四月二十九日に行われた四国プロック室内選手権に参加し、田辺君が（二Ｃ）が一位、百㍍平泳ぎの大原君は二位であった。

田辺君達は、これまでにも背泳その他でいろいろ成績を収め、今後の活躍が期待されている。

◇陸上部

県中学通信陸上競技大会が六月十二日に行われた。低学年の部では一木君（一Ｅ）が百㍍で、十二秒六で県タイをだし一位、走り幅とびでは二位であった。四百㍍リレーは西岡（二Ｄ）・一木・矢野（一Ｄ）・竹内（二Ｃ）が五十秒三の県新を記録し一位であった。

また、ベストでも前田君が二百㍍で一位、百㍍で二位であった。

◇バスケット部

五月三日には高校は商業クラブに、中学は朝倉中に、それぞれ惜敗した。

高知工業との練習試合では、七十対五十五で勝った。

六月二十五日には小津クラブと対戦六十九対十四で勝ち、二十六日には商業クラブに敗れた。

◇バレー部

男子は五月二十二日準々決勝で商業と対戦、善戦及ばず〇対二で惜敗した。

六月二十六日には、一回戦須崎高校に勝ち、二回戦には西校に敗れた。

女子は、春季県バレー大会で野市を二対〇で破ったが、第二試合は城北に〇対二で負けた。

◇野球部

春の甲子園でみごと準優勝したあとチャレンジゲームを行ない四月十六日安芸に四対三で勝ったが十七日高知に一対四で負けた。

六月二十五日の高校交歓野球で土佐は池田と対戦、十四対〇で圧勝した。なお、本校は高知高に六連敗しているが、今度組む時は猛練習に励んでいる。

◇応援部

三月二十八日から四月三日まで野球部の応援のため甲子園へ遠征。四月十六・十七日のチャレンジゲームの時には市営球場に応援に行き、ダッグアウトの上で大声をはりあげ、野球部員に負けず劣らずの大奮闘をみせた。

◇ソフトボール部

五月十五日の春季剣道大会では中学は団体優勝、個人戦では、倉知君が二位を獲得した。

六月十二日には、県下武道大会が行なわれ、中学団体優勝、個人では山下君が一位、倉知君が三位であった。

◇軟式庭球部

五月一日の市体で、山崎（三Ｂ）国沢（三Ｃ）組が優勝、酒井（三Ｄ）上村（三Ｄ）組が二位、清水（三Ｂ）溝淵（三Ｃ）組が三位と上位を独占していた。

六月十二日の県中学校軟庭春季選手権にも、一位柳原（三Ｂ）芝（三Ｂ）組、二位山崎・国沢組、三位清水・溝淵組と、他校の注目を集めていた。

高校も、五月三日・五日のインタ・ハイ県予選で、西村（三Ｎ）滝石（三Ｋ）組、小松（一Ｏ）坂本（一Ｏ）組の二チームが、八月に青森で開かれる決勝戦に出場することになった。

市体兼都市対抗予戦は五月八日に行なわれ、西村・滝石組が優勝小松、坂本組が三位であった。その二組が五月二十八日に松山で開かれた都市対抗四国予戦に出場しその結果本県は二位であった。

◇硬式庭球部

四月二十九日に市営コートで市体が行なわれ、中学シングルで中の中一は態度がフトイね。（笑）ところで、ナゴヤカと言えば、今高三なんか、すごくナゴヤカだ。

西内　いや、フザケが主だ（笑）

長野　まるで友達あつかいだものね。僕らが中一の時なんて高三なんかすごくこわかったのに……。

西内　そう。高三は高三として一目おいていたように思う。

山本　いやいや。くらしにくい。

西内　もう最近は早く出たいね。

山本　出るとしたらクラス・メートと別れることになるけど。今の高三なんか、すごくナゴヤカだ。

西内　ここで、ナゴヤカだ。

寺尾　私なんか、今の高三の方にも一目おいているつもりだけど。（笑）

長野　とにかく昔みたいにキビシイ感じはないね。

仲井　これも時代の違いか（笑）

竹村　土佐には笑いがあるね。それに〝自由〟だって気がする。

西内　生徒会や新聞部が色々言えるだけでも自由だね。

山本　言うだけじゃなくて、実行しなきゃね。

◇卓球部

四月二十九日の市体で一回戦高知中、二回戦付属中、三回戦城西中と勝ち抜き、優勝戦で城北を三対一で破り優勝した。

高校は三回戦で小津に敗退。今度は中学にまけないような成績をと、はりきっている。

◇水泳部

四月二十九日に行われた四国プロック室内選手権に参加し、田辺君が（二Ｃ）が一位、百㍍平泳ぎの大原君は二位であった。

田辺君達は、これまでにも背泳その他でいろいろ成績を収め、今後の活躍が期待されている。

◇陸上部

県中学通信陸上競技大会が六月十二日に行われた。低学年の部では一木君（一Ｅ）が百㍍で、十二秒六で県タイをだし一位、走り幅とびでは二位であった。四百㍍リレーは西岡（二Ｄ）・一木・矢野（一Ｄ）・竹内（二Ｃ）が五十秒三の県新を記録し一位であった。

また、ベストでも前田君が二百㍍で一位、百㍍で二位であった。

◇バスケット部

五月三日には高校は商業クラブに、中学は朝倉中に、それぞれ惜敗した。

高知工業との練習試合では、七十対五十五で勝った。

六月二十五日には小津クラブと対戦六十九対十四で勝ち、二十六日には商業クラブに敗れた。

◇バレー部

男子は五月二十二日準々決勝で商業と対戦、善戦及ばず〇対二で惜敗した。

六月二十六日には、一回戦須崎高校に勝ち、二回戦には西校に敗れた。

女子は、春季県バレー大会で野市を二対〇で破ったが、第二試合は城北に〇対二で負けた。

◇野球部

春の甲子園でみごと準優勝したあとチャレンジゲームを行ない四月十六日安芸に四対三で勝ったが十七日高知に一対四で負けた。

六月二十五日の高校交歓野球で土佐は池田と対戦、十四対〇で圧勝した。なお、本校は高知高に六連敗しているが、今度組む時は猛練習に励んでいる。

◇応援部

三月二十八日から四月三日まで野球部の応援のため甲子園へ遠征。四月十六・十七日のチャレンジゲームの時には市営球場に応援に行き、ダッグアウトの上で大声をはりあげ、野球部員に負けず劣らずの大奮闘をみせた。

大学合格者

東大合格者十八名に

合格率は七〇パーセント突破

戦後最大の難関といわれた本年度の入試もおわり、このほど、昭和四十一年度の本校生（浪人を含む）の大学進学状況が指導部より発表された。それによると、受験者は四八九名。合格者実数は三五五名（浪人二四八名、女子五五名）で、昨年に比べると六〇名の増加を見せている。（なお、合格者延べ数は四九一名。）また、合格率も昨年の六八・七パーセントを大きく上回り七二・六パーセントとなっている。

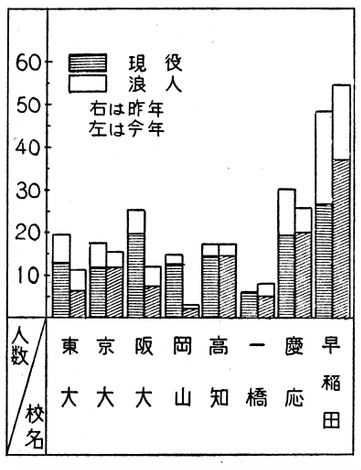
学部別に見ると、トップは工学部の七〇名、法学部の四一名、経済学部の四〇名で、その他の学部を大きく引き離している。昨年と比べて工・文・法・経済学部ともに約二〇名減少したのに対し、家政、理学部等が増加している。

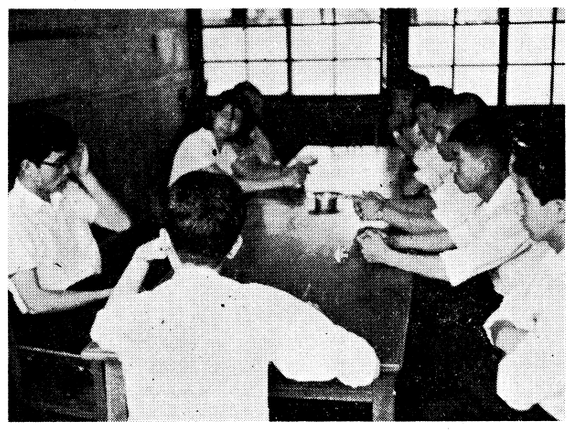
学校別に見ると、東大、阪大がそれぞれ昨年の二倍もの合格者を出したのをはじめ、北海道、岡山等も大幅に増加し、国立大学への合格者は一〇〇名を突破し一三六に達した。私立では慶応、同志社がわずかにふえたのみで、あまり大きな変動は見られなかった。また高知大学へは昨年と同じく一六名が合格している。

今年の大学入試結果は、合格率、合格者数、学校の質などあらゆる面において、従来の壁を破った抜群の成績を示しており、土佐高開校以来最良の結果であった。

山岸先生（指導部）談

今年の入試には、ほぼ目標に達することができた。これは何といっても受験生が「絶対合格してみせる」という意気ごみのもとに、一生懸命努力したからだと思う。また、新課程入試になったことによって、現役の受験生には多少有利だったようだ。しかし来年は浪人の巻き返しが予想されるので楽観はできない。高三の生徒はしっかり勉強して、入試に備えてほしい。





座談会風景

おみやげはスライド

高崎先生アメリカ見学

本校の高崎元尚先生は、去る三月二十一日よりニューヨークで開催されていたジャパン・アート・フェスティバルを見るため、三月十四日羽田をたち渡米、二十九日に帰国された。高崎先生自身、同フェスティバルに作品を三点出品されていたが、むこうで受けた印象について

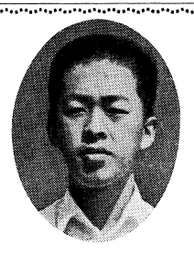
「とにかく、日本の絵とアメリカの絵とはまったくちがっている。アメリカには日本のように封建的なものが全然ないので思いきった作品を作ることができるのだ。」

ということを強調されていた。

また、今後の方針については「私がもっと若ければニューヨークかどこかへ行って、どんどんいい作品を作りたのだが、まあ、ここに残って、青年達のために、現在の封建的なものと戦うつもりで、今までどおりコツコツやっていくつもりだ。そして、またいいものができたらあちらに売りこんでも、もう一度ニューヨークあたりへ行ってみたい。」と語られていた。

なお、先生は、フェスティバルの会場や各地の美術館及び近代様式の建築物などを中心に、スライドに撮ってこられた。七百～八百枚余り写したうち、まとめたのは三百ぐらいだそうで、今までに、学校では、美術を選択している高校生や、ホームルームなどで二、三のクラスに、外部では、先生の親しい友人や美術関係の人達に見せたとのこと。また、高崎先生も後に加入された、大阪の具体美術協会からも三人出品していたが、三人ともフェスティバルを見に行くことができなかったため、同協会が毎月末に同協会の具体美術館で催しているオープニング・パーティーの席上で、高崎先生の撮ってこられたスライドを、報告がてら一般公開したそうだ。スライドは、その時の欠席者のために、同美術館に現在も預けてあるということだ。

松田君（3T）アメリカへ



六月十五日、かねてからの夢を叶えに東京羽田をアメリカへと向かった本校生徒がいる。その人は高校三年Tホームの松田容長君（Ⅱ写真）である。

松田君の渡米話は学校に入学するとまもなく具体的になり、友人間にもその話題を呼んでいたが、このほど決定。アメリカにいる叔父、武市氏の招きで渡米の運びとなったもの。松田君の属する三年Tホームはこの報にあらためて驚いた様子で、彼の渡米に羨望する者も出て来る始末ではあったが〝受験〟〝試験〟の高三生活に新鮮味を与えている。五月二十八日クラス・メートに送られた松田君は、アメリカに行く抱負を次のように語ってくれた。

「とにかく苦労はしてでも、自分を試してみるつもりです。よく〝なぜ行くか〟って聞かれますが、僕はアメリカの持つ、あの偉大なエネルギーに魅力を感じます。」

松田君の滞米期間は二～四年といい、言ってみれば自費で行く彼の前途は、多難と言えそうだ。なお、彼の志望は建築士だとの事で、十五日羽田を発った後は、九月までは（アメリカの新学期は九月から）オマハ・テクニカル・ハイスクールのサマー・スクールに出席する予定。

住所は

Yohsinobu Matsuda ℅
Farnam Street Omaha
Nebr. U. S. A

おわび

大ゆれにゆれた文化祭問題、結局七月一日の職員会議で二月に開催することになりました。向陽新聞もこの事態の急変にはついけず、一面の「主張」は期日の都合上、書き直しが不可能でしたので、そのまま掲載いたしましたここに学校当局ならびに本校生徒諸君に対し、謹しんでおわび申し上げます。

――向陽新聞部――

イリキ眼鏡店
高知ハリマヤ町 電②0998番

古本誠実買入
井上書店
定休日　1.2.3.4の月曜日
高知市帯屋町中の橋通り
TEL③ 3931

白亜堂の万年筆で勉学を
白亜堂
帯屋町東宝劇場西三軒
TEL② 2473

ヒフ病薬　新薬は
はりまや薬局
はりまや橋 四国銀行本店前 TEL②2665

音楽愛好家の皆様の店
クラシカルレコード専門店
楽聖
各種レコードを豊富に取揃え、皆様のおいでをお待ち申し上げて居ります
三条通電停北三軒目　TEL③—1009

制服
入交 学服
中ノ橋電停前
TEL② 1776 2744

冷房完備
本と万年筆 明文堂
本店　ニューコーテビル西端
TEL ② 6395③6959
支店　大丸デパート西口前

新築落成に・ご婚礼用ご出産用に……祝餅・赤飯・饅頭
老舗 創業明治二十年
中納言
本店　大橋通り②0573③2490
汐江店　天神町②2979

コリャまたどういうわけだ?!

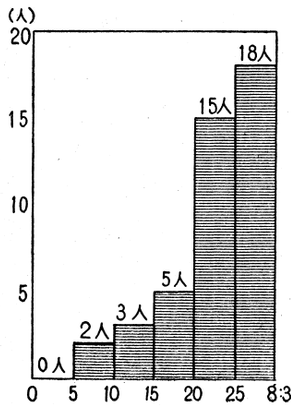
無帽通学者 一日平均四十三人 遅刻は昨年の二倍

◇…「土佐の学校は堕落している。」「だらしないことをしていても気…◇
◇…がつかない。それを良いことのように思っているのだ。」最近こん…◇
◇…な声をよく聞く。「土佐へきて失望した。」多数の中学一年生の意…◇
◇…見である。無帽、ドンブリ、遅刻、屋上の禁止区域で昼食をとる…◇
◇…の、自転車禁止区域からの乗り入れなど数えあげればきりがない。…◇
◇…新聞部ではこの中で中学一年生からの意見が一番多かった無帽、ド…◇
◇…シブリ、遅刻をとりあげ現状をさぐってみることにした。　…◇

ある日、中学一年生のA君は門の前で無帽の上級生に会った時、思わず目をそむけた。「土佐の上級生って帽子はかぶらんといかんいうて生徒手帳にも書いてあるのに……。無帽を悪いと思わないのかな。」こういうA君の顔には失望の色がありありとうかんでいた。A君の横を、無帽のものが一人、二人……通りすぎていく。

もどしてない どんぶりの数

6月13日	70個
14日	237
15日	154
16日	144
17日	178



一週間の一日平均の無帽者数

「無帽の理由?そりゃあめんどうくさいもん。」「ヘア・スタイルかえ。まあ気になるね。」……中には「帽子をなくした。」というものもいたが、無帽で登校するもののほとんどがこういう意見である。無帽で歩く者のほとんどが常連で「先生に会ったち何ともない。先生も注意しないし気にならない。」という彼らだが門が目の前にせまってくると帽子を頭へチョコンとのせて門へはいったとたんまた、頭からそっと帽子をとりあげる。こういうものがほとんどである。新聞部では一週間調べてみたが(表参照)特に多いのは八時二十五分から三十分までの五分間、あわてふためきながら門へすべり込みセーフ。これが一番多い。この時間に一番多いのは「職員朝礼があるからだ。」というものもいる。

ある朝、無帽が二人向こうから何やら愉快そうに話しながら雄々とやってきた。すました顔をして門をくぐった彼らの横顔をみるとなんと二人は先生だった。こんな場面はよくある。先生方は無帽をどう思ってらっしゃるのだろうか。「いつもいつも取りしまりをすることもできないし。結局、本人の自覚だね。個人個人がきちんとしてくれないとねえ。それから生徒会の方でも無帽の取り調べなどやってほしいね。」と生徒部の高橋先生はおっしゃっているが……。

「他人は他人。自分は自分。他人がどうしょうと勝手だ。」「注意?そんなものできるか。あほらしい。」こう答えるのが無帽をみる土佐校生（上級生）の意見。またこれとは反対に「学生らしくない行いをして恥ずかしいとは思わないのか。」と憤慨しているものもある。しかし下級生の間ではA君のような意見をもっているものが多い。

「シリジリジリ。」三十分のベルが鳴ってからあわてふためいて飛び込んでくる者。いわゆる遅刻だ。

今年は四月が合計五百七十人、五月が合計六百六十八人で昨年度の四月二百八十六人、五月三九人にくらべ大幅にふえている。このように去年にくらべて急激にふえているのは、時間割変更で十分早くなったことと自転車の禁止区域を決めたことがあげられるようだ。

学年別では高二がトップ（四月百九十一人、五月二百九人）で、クラス別では四、五月を通じ二〇がトップで四月が八十四人、五月が九十一人と二位の一〇の四月五十四人、五月五十人を大きくひきはなしている。二〇、一〇につづいて多いのは三Kと二S、二Tである。

「はじまりがいくら十分早くなったからといって遅刻するとは……。遅刻なんかするのは根本的にひきしまってないからだ。」とはこの四年間遅刻をしたことのない某君の意見。「朝ねぼうをした」これが遅刻の一つの原因である。「もう五分早く起きてこい。」先生はこうおっしゃる。けれどもほとんど決まった連中がまた遅刻をしてくる。これが今の土佐の現状である。

ドンブリ返せ!

昼休み食堂でのこと。高二のB君とC君がせっせとドンブリをかたづけている。聞いてみるとドンブリの後始末をしないものが多いのでみるにみかねて手伝っているとのこと。みるとそこかしこの机の上に返されてないドンブリがたくさんあった。「ドンブリを返しにいくくらい一分もかからないのに。」とB君はいっていた。ためしに調べてみると表のような結果だったがこれもドンブリがたらないので食堂のおばさん達がかたづけていくからこれぐらいだそうで実際はもっと多いそうだ。

返されてないドンブリを目の前にしてツルツルツルツル……食べ終わるとこれもまたドンブリをおいたままでゆく。予鈴が鳴るころには、ドンブリで机がいっぱいなのだ。「めんどうくさい。後は誰かがかたづけてくれるやろ。」ドンブリを返さないものの意見である。「彼らは『ほかのものに迷惑だ。公共物のエチケットを守ろう。』というような気持ちはないのかな。こんな少しの事ができないなんてだらしがないよ。」中には皆がもどさないから「右にならって」という調子のものがある。「はじめて食堂へ行くと上級生が会然ドンブリを返してない。土佐ってもっとしまるところはしまってると思っていたのに……。でもしばらくたつと慣れてきて『上級生が返さないんだから返さなくてもいいだろう。』と思いだした」中一のD君はこういっていた。

「〇〇さんがしていないから僕もしない。」集団心理だ。しかし現在の土佐校ではあまりにもこれが多すぎる。「結局下級生は土佐校生の気風、といっても悪い面にそまってないから上級生のすることを悪いと思うんだ。すぐ慣れてしまう」とさ某君はいった「朱に交われば赤くなる。」下級生が上級生になると同じような事をする。これが現在の土佐校のようだ。

専門家にも好評 美術、書道合同展開く

四月十一日から一週間、浜幸の四階画廊で美術部・書道部の合同展覧会が開かれた。会場には多い日で二百人から三百人の人がつめかけ、中には専門家の姿もみられるなど、大いににぎわっていた。

文化祭だけでは見物人は生徒に限られてしまうので、この際一般の人達にも自分達の苦心の結晶を見てもらおうと合同展に踏み切ったわけだが、このことは普段活動のめだたない文化部にとって大きな影響を与えた。展示内容をみると、美術部は油絵を主体に十七点、書道部は二十九点で、いずれも力作ぞろいであった。その中で、美術では玉井君（三H）の「人間とは」や小川さん（三C）の「想い出」、書道では筒井君（三C）の「欅森」、土居君（一〇）の「あどけない話」などが特に関係者からも高い評価されている。

前田君（美術部）談
春休みを返上しての作品製作だったので、初めは一部下級生に不満の声もきこえたが、半ば過ぎるとみんなおもしろくなり、自分からすすんで学校へ来て書いていたようだった。そうしたことによって美術というものに新しい興味がわき、何か得るところがあった。

土居君（書道部）談
自分の作品を発表することによって、自分の書を客観的に見ることができたし、それが視野を広めるためにも大いに役だった。いろいろ専門家の方々にも批評していただいて、たいそう勉強になった。作品ができ次第また展覧会を開きたい。

美術部展示作品より

土佐校は友情不毛?

――アンケートに見る土佐校生の友情

「土佐校内では、友情が育ちにくい」というのは生徒間でもよく話題にのぼる言葉だが、新聞部ではその友情について中学一年～高校三年まで各学年一クラスを対象にアンケートをとり調査してみた。

「あなたは親友を持っていますか。」の問に対しては〝友情関係の悪い土佐校〟の噂に反し結果は「もっている」と答えた者が、中一では九三パーセント中二・中三では七〇～五〇パーセント、高一・高二は五〇～四五パーセントと、高学年になるほど減少してはいるものの、全体的にかなりの高率を示している。そして、その内の六四パーセントまでが「土佐校内での親友」となっている。その他では「小中学校以来の友人」というのが最も多く五〇パーセント以上。「クラブ活動での友人」が二〇パーセント程度であった。

「親友を作りたいですか」という問には、五パーセント弱の人達が「作りたくない」と答えている。その理由としては「真の友情などというものは存在しない」「親友を作れば色々に気をつかわねばならないから」という事があげられていた。しかし九〇パーセント以上が「作りたい」のであるが、実際に今親友を持っているのは六五パーセントに満たない。この現象は新聞部に送られてくる他校の統計においてもみられる事だが、本校内ではその開きが大きい。また「特にどのような場所で作りたいですか」という問の答で最も多かったのは「土佐校内で」という答えだった。まだまだこれから先の校内での友人関係の改善も期待できそうである。

「親友の数は何人程であるべきですか」との問には、高一の五〇パーセントを除いて、各学年共に、六〇～七〇パーセントまでが「何人でも良い」と答えている。「男女間においても親友というものは可能ですか」という質問に対して「可能」と答えた者は中三の七四パーセントをはじめ、いずれも七〇パーセント前後の高率になっている。

「大宰治作『走れメロス』の様な友情は、現代でも可能だと思いますか」の問には、四〇～五〇パーセントの人が「可能」と答え、二〇パーセント程の人が「不可能」と答えている。これによって、友情を作りあげてゆける範囲、そしてその友情の程度がうかがえる。

「友人を作るためには、自分がその友情に値しなければなりませんか」には八〇パーセントが「はい」と答えており、多くの人が「値しなくても、そうなるように努力してゆくべきだ」とつけ加えていた。

今の状態なら、噂から脱皮し友情を育ててゆく余裕がありそうだ。

ブラスバンド 演奏会開く

残念な一部観衆の態度

五月四日、高知市中央公民館においてブラス・バンド部による第二回スプリング・コンサートが開かれた。

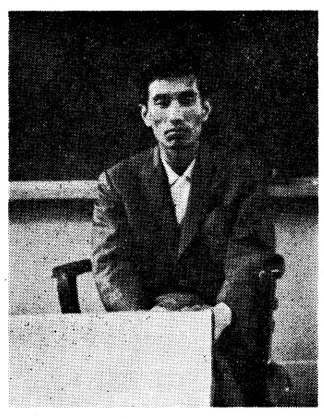
当日会場は満員で午後六時半から八時半まで、すばらしい演奏を披露して日頃の猛練習ぶりを示した。しかし一部観客の間には、盛りあがりが少なく、演奏者と観客が離れすぎていたという声もあった。ブラス・バンド部々長は、美術・放送部などの協力によって昨年に引続いて開いたコンサートに対して、「部員の一人一人が自分の責任を果そうと一生けんめい演奏したし、よくできたと思う。今回のコンサートはスクリーン・ミュージックを主にして皆に親しみのもてる曲を選んだつもりだ。」と言っていた。

Sさん談
今回は観客の態度が全然なってなかったと思います。ブラスバンドの人達といっしょに手拍子を打つ曲があったけど、知らんふりをしていた人が多く、学生のコンサートなのにテープを投げたりする人がいて、不真面目でした。来年は、もう少し協力的な態度で演奏を聞かなければと思います。

すばらしき人

二十九回生 県立盲学校教師 吉松格致さん

伝統を守れ! 酒は強い方なんですョ



県立盲学校。矯正視力〇・三以下の人や全盲の人が通っている高知県にただ一つの盲学校である。ここは小・中・高校と専攻科があって、生徒数はあわせて百三十人である。ここにわれわれは本校第二十九回生の吉松格致さんをお訪ねした。

まず最初に、「お名前はなんと読むんですか。」とお聞きすると、「タダシって読むんです。ちょっとかわっているでしょ。この名前をタダシって読んでくれたのはカマスだけでした。他の先生は皆カクチカクチって。だからあだなも名前に関することが多かったんです。カクチンカコ、それに名前の由来からくるカクブツチチなんかね。」カクブツチチとは論語にある言葉で格物致知と書くのだそうだ。次にこのようなお仕事につかれた動機をお聞きすると「別にないんですけど……。実はぼく、県外の大学に行きたかったんです。(吉松さんは高知大学をでられている。)でも家が百姓をやっていたし一人っ子だったのでオヤジがだしてくれなくってネェ。それで教師でもしようかなと思って、この学校へきたのは校長の希望があったからなんです。」吉松さんは普通校もやってみたいのだそうだ。このような特殊学校にはいろいろ苦労があるという。「生徒に不可能なことが多すぎるということですね。たとえば理科実験の時の色の変化は盲人にはわからないし、漢字の同音異義語などは点字には漢字もひらがなもないから口でいうしかないですし……。だから信用でいくより他はありません。ぼくがこれは赤色をしている。といっても見えないんですから、ぼくを信じてもらうよりしょうがないんです。」盲人の立場に立って物を考えることはできないので、はがゆい時なんか自分に自信をなくしてしまってこんな仕事がイヤになることがあるのだそうである。ここには四十才～五十才の人や子どものいる人もきている。その人達をエライと思うそうだ。若い者に混じっていっしょうけんめい勉強しているのを見て。「ぼくにはマネができません。感心しますね。それにその人達のほうが若い者よりも勉強しますよ。」(みなさんもこの人達に負けないようハッスルしてください!)

ここで吉松さんの性格をお聞きした。「消極的なほうですねェ。神経質なんです。でもその反面のん気なところもあるんですよ。自分で考えて行動するんです。性格で損をするのは気が弱いところですね。相手の感情を考えるのでバリバリものが言えないんです。」クラブ活動は中学時代は生物部に入っていたそうだが高校時代には入らなかったそうだ。「そのかわり友達と棒高飛をして遊びました。三メートルぐらいだったかな。飛ぶのは体操がキライだったんです。特に運動会では走るのがね。走ったらビリでしたから。カッコ悪いですものね。」土佐校時代にスキだった科目は数学・理科で、特に数学は解くのが趣味のようなものだったそうで、一番イカラッタのは日本史だったそうだ。「学生時代はいいですね。楽しく遊べるのも学生時代だし、友達は高校時代の最高ですからね。それから親友は必要ですよ。初恋のことを話したらソイツもその子がスキだったとか、なつかしいですからね。」

「卒業式の夜はどうしましたか。」と、参考にと思ってお聞きすると、「酒を飲みに行きました。」記者一同ニヤニヤしは じめた。それから友達の家へおしかけていっていろいろ荒したりしたそうだ。「酒は強いほうなんですよ。一度赤くなって、それからだんだん青くなるんです。本当に強い人は青くなるのだそうですね。」勝負事はキライなんだそうだ。それに学校自体そういうものに対してきびしいらしい。

最後に、「現在の土佐校生へ一言。」「伝統を守れ〆、っていいですね。今でもぼくは土佐を卒業したことにほこりを感じる時があるんで。それから校風をうちたてていってもらいたいんです。名門という、でも予備校化はしてもらいたくありませんね。勉強々々って、そんなツメコミ主義の結果、幅のせまい人間にはなってもらいたくありませんからね。」読書は学生時代にしたほうがいいのだそうだ。「社会にでてからはほとんど読むひまなんてありませんからね。後悔しますよ。ぼくみたいに。」諸君には先輩をみならわないで読書をしてもらいたいとおっしゃっていた。

(T・T)

新任先生紹介

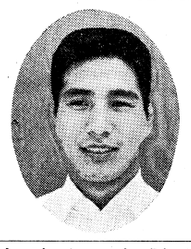
岡部淳之助先生（理科）
本校第二十三回生で、本校時代はプールの水をぬいたり、標本室の砂糖をなめたり、いろいろのいたずらをしたとか……。

卒業後は旧制高知高を経て、大阪大学へ入学、卒業後大阪の工業高校で教鞭をとられたのち、本校にこられた。

岡部先生談
現在の土佐校生は人数の多いわりにおとなしい。もう少し進学をわすれてのんびりあせらず学生生活をおくってもらいたい。

栗田美千代先生（英語）
本校の三十七回生。今春、京都外大を卒業され、若い人と接することができるからと、英語の教諭として本校にこられた。大学卒業前、ユースホステルを利用しながら東北を一万円旅行?された。丁度、運賃値上げの時だったので二日前に値上り寸前の切符をかって出発されたそうだ。趣味・特技共に歌うこと。

栗田先生談
皆、礼儀正しく気持ちがいいですね。それに私がでたころより随分ドライです。部活動なども活発にやってほしい。私も生徒と共に学び精神的にもいい影響を与えるような先生になれるよう頑張りたいと思います。



西願寺哲夫先生（体育）
先生は天理教大学を今年卒業。片岡先生の代理に四月から体育の授業を受けもたれる事になった。柔道四段という腕前で学生選手権に出場された事もあった。趣味は音楽と映画鑑賞とのこと。

西願寺先生談
日が浅くて万事不慣れな点が多く、とまどう事ばかりだが、生徒全員が素直なので非常に授業が進めやすい。
また将来は土佐校の柔道部を全国大会に出場させるために、県下一にしたいと考えている。

酒井青喜先生（体育）
高知師範学校を卒業された後、四十年間、体育の指導を続けてこられ、この度、中央高校より体育の教諭として本校にみえられた。今まで勤められた学校では体育館の設立につくされては、それを使用する間もなく学校をかわられたという。また、一昨年のオリンピックの時には、本県の聖火リレーの責任者をつとめられたとか。趣味は俳句、菊づくり、それに少々お酒もたしなまれるとのこと。

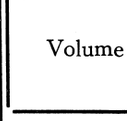
酒井先生談
土佐校生はまじめで明るく授業をしてもりがいがある。これからは、この学校の方針にそい『社会人としての健康づくり』を目標に、一生懸命教えていきたい。

杉浦純夫先生（数学）
先生は愛知大学付属岡崎中学、高校、高知大学を卒業後、本校に数学の教師としてこられた。
数学が大好き、他に何も知らないという満二十四才の先生は、特技はそろばん三級、趣味は星についての研究、それに日曜大工とのこと。

得竹耕司先生（理科）
先生は、兵庫県伊丹高校を経て、高知大学へ入学。物理学部理学科を卒業後、すぐ物理の教師として本校へ来られた。趣味は音楽鑑賞とのこと。学生時代には、テニスをやっておられたそうだ。今も、放課後には時々やっておられる。

杉浦先生談
この学校の学生は自分の学生時代と比べて何につけても積極的で元気があるし、校舎も自分のいた学校よりも少しいい。生徒の数学に対する力が少しでも上れば幸いと思っている。

得竹先生談
この学校の生徒は、少しおとなしいようだ。もう少し活発性がほしいと思う。クラブ活動を通じてなかよくなり、みんなと一緒になって、勉強していきたいと思っている。



高知一の定評 うまいお寿しは
菊寿しチエーン
菊寿し　本店　中央公園西口
西店　大丸西口
10エン寿し
ひょっとこ　京町店　大丸東口
帯屋町店　中央公園北口
Volumeの寿し　学生寿し　近日発売予定（各店共通）

趣味陶器のを沢山揃えております
依光陶美堂
高知市オビヤ町　TEL ②2321

新刊・書籍・学参の御用は
金高堂書店
帯屋町中ノ橋通り
TEL ⑤0161（代表）

土佐塾もこの春創立七周年を迎えます!
母校へ既に４００名、5人に1人は土佐塾出身です!
みなさまのお蔭です、本当に有難うございました。しかしながら私学の前途は楽観を許しません。
今こそ総力を結集して母校の発展を計りましょう。少しでも役にお立てばと願っています。
小4～高1・中浪各クラス塾生募集中
優秀な後輩をお世話下さい!土佐中生の補習教育にも御利用下さい!
最高の合格率　最大の合格数
塾長　福島清三（29回早大法卒）
教頭　中原章夫（広島高師卒）
進学主任　武中正雄（30回早大政経卒）
土佐塾
高知市宝永町67　電停北100㍍電③0729

66' 夏……スポーティに……
水着・サマーセーターなど
良品・廉価で
ご家庭に奉仕
行楽のお買物は
土電ターミナルで
土電会舘
高知・横浜
高知マリン・サニー・プール
（7月13日オープン）
夏休みのレジャーにご利用下さい。

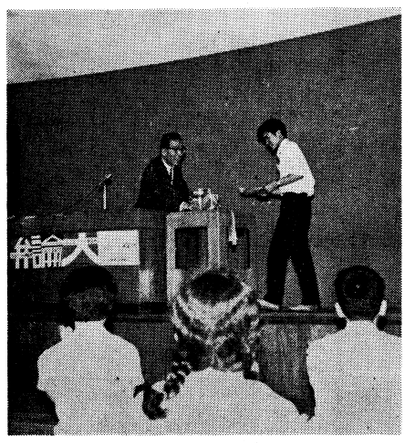
大学受験とは何だろう

弁論大会優勝作特別寄稿　2,0　西森　誠

受験は〝灰色〟ではない

ガリ勉こそ積極的な人間

☆…　六月二十一日、本校講堂で執行部、新聞部共催の第三回校内弁論大会が行なわれ、厳重な審☆…査の結果、優勝の栄冠はその巧みな話術と説得力をかわれた、二〇の西森誠君の上に輝きまし☆…た。西森君の演題は「大学受験に思う」。いわゆるガリ勉の中にこそ積極的、意欲的な人間を…☆☆…見出すという独得な発想が認められたものです。☆…　大学受験……それは我々みんなが考えなければならない問題ではないでしょうか。新聞部で☆…はそこで当日、弁論大会を聞けなかった人達のために、また当日聴衆だった人達ももう一度じ☆…っくり味わってみてはどうかと思ってここに「大学受験に思う」の原稿を掲載する次第です。☆…カットは美術部の武吉広和君です。



曽我部杯を受け取る西森君

現在、私の頭からどうしても切り離すことのできないひとつの言葉に「大学受験」という言葉があります。正直言って私はこの言葉を聞くと実にゆううつでありまず。なぜなら世間でよく言われます「灰色の高校生活」という言葉と結びつけて考えるからであります。しかし泣きごとは聞きません。現に私達には「大学受験」というきびしい現実がひかえているのであります。ですから私はこのきびしい現実を単なる苦しみに終らさず、喜びにするためにも大学受験の意義を私なりに考えてみたのであります。

大学受験をめざすこの数年間というものを、まあもっとも幼稚園の頃から大学をきめておられるまことに準備のよい方もおられますが、そういう方は特別といたしまして、この大学をめざす数年間におけるさまざまな苦難や喜び、これらのものは、人生の途上におけるそれ、すなわち苦難や喜びと深さ、大きさのちがいはあったにしても、ある目的にむかって前進する、その途上においておこるという点では何らかわりはないと思うのであります。すなわち大学受験をめざす数年間は、人生の縮図でもあります。

人生は生命ある者は誰でも参加できる競技であります。もっとも生命あるものと言いましても、この場合、人生でありますので人間でなければならないことはもちろんであります。これと同様に受験も、意欲あるものは誰でも参加できる競技であります。ここで私は大学受験をめざす人間には二つの型があると思うのであります。そのひとつは消極的な型、そしてもう一方は積極的な型なのであります。まず消極的な例をここであげてみたいと思います。私達はよくこんな事を耳にします。

「おお！うちの親父はうるさいよ、たいがい自分の若い時の事を考えたら、オレの頭の程度ぐらい分かりそうなもんやに！ガツガツいうなねや」などと、当然なされるべき努力もせずに、親に反撥をする人があります。しかし彼らは彼らでそれでいいのであります。彼等にはすきだけ遊ばせておくのがよいのであります。彼等にはいつの日か必ず「自分はこのままではいけない。」と気づく日がくるのであります。その時こそ、彼等が真に出発する時なのであります。すなわち私が申しあげたいのは、親にビクビクしながら尻をひっぱたかれながらシブシブ勉強するようなヤツはダメだというのであります。なぜなら彼らは親の投資の対象になりかねないからなのであります。

ここで私の言いたいのは、結果ではなく過程（プロセス）なのであります。気づくのは遅かったが自分がやらなくてはならぬと必要を感じてやった男と、そんなことは考えるヒマもなく親からせきたてられてやった男と、どちらにより多く価値を認めるべきでありましょうか。たしかに大学入試という結果においては逆な形でるかもしれませんが、私は自分から必要を感じてやった男に、はるかに魅力を感じるのであります。しかし私はこれが最ものぞましい型とは思いません。最も望ましい人間は、もうひとつの積極的な人間の中にあると考えるのであります。ここで私はこの積極的な人間を、言葉の便宜上「ガリ勉」という言葉に代表させたいと思います。なあんだそしたら最も望ましいというのは「ガリ勉」のことかなどと言われる方があるかもしれません。が、まあ話はあとまで聞いて下さい。

いざ行かん　大学へ

私は今まで、ガリ勉をけなしてきた部類の人間であります。しかし私はこれからガリ勉を黙認します。なぜなら「ガリ勉」にも二つの種類があることに気がついたからであります。そのひとつは、俗にいうガリ勉であり私利私欲に生きがいを感じる奴等であります。そしてもう一方は、自分の目的のために追求することが他人の幸福にもつながるということを知っている人には「ガリ勉」という言葉よりも、むしろ「勤勉」という言葉がふさわしいと感じるのであります。そしてここで一番問題は、単なるガリ勉と勤勉とは外観では判断がつかないということであります。

ここまで言ってきますと、自分の目的のために追求することが他人の幸福にもつながるということを知っている人は「ガリ勉」とは言えないということは、現在の私達が最もよく知るところであります。

そしてもう一方は、自分の目的のために戦いました。そして当時の人々にすばらしい文化を与えてはありませんか。そしてスチーブンソンはどうでしょう。彼は自分の利益のために蒸気機関車を発明しました。そしてその結果はどうですか。ご承知のとおり、当時異りつつあった産業革命を大いに促進したではありませんか。さらにかの有名なイギリスの偉大な劇作家シェークスピアはどうでしょう。彼は自分の妻子のために多くの戯曲を書きました。そしてそれらの作品の一つ一つが、後世の人々の心にいかに強く訴えたかということは、現在の私達が最もよく知るところであります。

ギィー開けえ大学!!

君、星をみよう！

夜空には夢と詩情がまたたく

今世紀最大と騒がれたイケヤ・セキ彗星が視界を去って半年。ルナー九号が成功し、サーベイヤー一号が上がり、ジェミニ九号が飛んだ。宇宙開発競争がさかんに行なわれている今、またまた宇宙空間が注目を集め、天文学の静かなブームが育ちつつある。

一九五七年十月、ソ連がスプートニク一号を軌道に乗せてから九年。その九年の間に、人工衛星によって多くの新事実が発見された。地球の高層大気の状態、月・火星の表面、惑星間空間etc…。一九六一年には人間衛星船によって宇宙を飛び、それに続いて宇宙遊泳。そして、今、月に人類の足跡を残そうとしている。

しかし、宇宙は現実だけの世界ではない。古代神話の、まったくロマンチックの世界でもある。いけにえとして捧げられる王女アンドロメダを救った勇士ペルセウス。神の怒りにふれサソリに殺された狩人オリオン。天の川に浸る大神ゼウスの化身白鳥。……。素晴しいロマンの世界。（イイジャナイ）

きみ、あなたそして斉藤君、読んでるかね？読んでるだろうね。夜だからって、夢を見てちゃいけないヨ。星を見よう。空に輝くあの星を。坂本九も言っている。〝見上げてごらん夜の星を〟

君たちは星を見る機会が少ないように思う。夜空に輝く星の素晴しさ、美しさをはたして何人の人が知っているだろう。夜遅くまで勉強していても、終わるとすぐに高いびき。心にゆとりがなくなるのも無理はない。一度でいいから夜空の星を仰いでごらん。草木も眠る丑満時、庭に出て独り静かに夜空を仰ぐ——。（イイトオモウヨ）最愛の妻を失い、悲業の死を遂げた堅琴の名手オルフェウス。オリオンに狂ったように突きかかる牡牛。七夕の織女と牽牛等々。古代の神話がつぎからつぎへと思い出されるだろう。いろいろと星の世界を想像するかもしれない。アインシュタインはこう言った。「大切なのは、ノレジ（知識）ではない。イマジネーション（想像力）だ。」

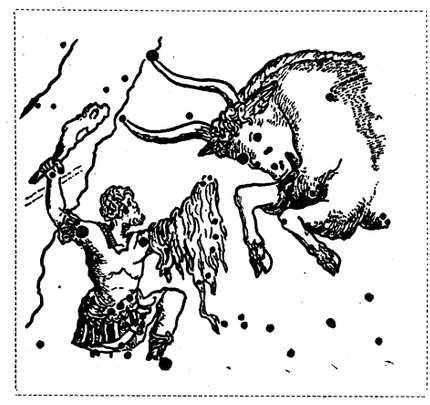
近年の科学の進歩によって、宇宙は科学だけの世界のような印象を受ける。しかし、星の世界は決して理詰めの世界ではない。昔から多くの小説や詩歌に星の世界がとりあげられている。童話の、小説や詩歌の星の世界に浸りたいとは思わないか。

藤村は『千曲川のスケッチ』の中に、こう書いている。「山の上の星は君に見せたいと思うものの一つだ。」

山の上の星を見る機会は少ないかもしれない。しかし、せめて町の上の星だけでも見ようではないか。

最後にもう一度言いたい。大いに星を見よう!!　夜空に輝くあの星を!!

（S・Y）



外野席

大学しか頭にないのか！

—土佐高生批判—

春の選抜高校野球では、わが校の大声を酒のさかなに sin・cos は大いに名声を博した。小柄なことに学問優秀なる由縁である。ありとも幼稚園また、運動選手の手本ともいわれ、観戦していたわれわれも、少々面がゆく、顔のほころぶのを止められなかったものであった。そして人々は一土佐校生はすばらしい、礼儀正しく、学問があって、という。土佐高生である頭脳明晰な諸君には私が何を言わんとしているか、感づかれたものと思う。

例をあげよう。土佐高生の生徒総会とは、どんなものであるか。このとき諸君のまわりを見渡してみ給え。いったい何人が聞く気になっているか。何人が一緒に考えようとしているか。そのうち、あるものは数学の本を持参し、議長と問題を解くのに余念がない。また彼らはよくまた「土佐高生は野性美がある」…また彼らはよっぽど早くおかあさんの顔が見たいらしく、総会中にも早く帰りたいと言ってきかない人達だ。又、これが名門土佐校のであります。

土佐校生気質について

僕はある土佐高出身者からこういうことを聞いた。「土佐校は、エゴイズムばかりである。競争意識はあって、大いに結こうだが、どうも昔から土佐校というと、他人に映画の招待券を贈って映画に行かしておいて、その間に自分は勉強するというような所がある。」らいたい。（三A・S生）

というのである。僕は非常に残念である。しかし、そういう点はたしかにある。必要以上の競争意識があって、どうも友達としっくりいかない時がある。それに人情に欠けていると思う。もっと皆、利己的にならずに、楽しくやっても名声と、うらはらな土佐高生ではないのか。（三O　男子）

割りこみは　やめよう

ぼくは毎日食堂へ行く。もちろんまじめに並んでいる。しかし前の方では平気で割りこみをしているのだ。まるで割りこむのがあたりまえかのように、全く道徳のない人達だ。又、これが名門土佐校の生徒なのか。食堂だけではない。平気で上ばきのまま外に出てそのまま上がっている。これを一年生がまねをする。このままで良いのだろうか。（中三　男子）

螢光燈が　ほしい！

校舎新築も結構だが、その前に現在のわが校をよく見てほしい。ガラスのない窓、破れた壁、うす暗い教室に蛍光燈がたった二つ、傷だらけの机、イス、黒板……。その中でも特にこまるのは、蛍光燈の数が少なすぎるということです。これは生徒の目に直接影響を及ぼすので早く何とかしてほしい。（三A　女子）

ぼくのクラスには電燈が一個しかなくて、雨の日なんかはとても暗い。もっと照明を良くしてほしい。（二B　男子）

各々の部を平等に

土佐校においては、野球、テニス、ソフト、ハンド、バレー、サッカーなど、いろいろな運動部があります。そして部員は毎日練習にはげんで、その成果をみるため試合に臨むわけです。さて応援のことですが、こと野球のことになると校長先生の話、または朝のH・Rなどで、「できるだけ、応援にくるように」という伝達がありますが、さてさて、他の部はどうなってんの。試合の結果も知らないし、試合があったのかどうかも知らないような状態。これではいけないでしょう。テニスにしろ、野球の練習にも負けないようがんばっています。他の部もそうです。別に「応援に行け」とは言いません。でも、学校の機関の一部であるからには、少しくらいのことを知っててくれてもいいと思う。野球部、野球部とこだわるわけではないけれど、野球部だけを学校で宣伝せずに、他も部も宣伝してほしい。野球部だけではなく、テニス、ハンド、剣道なんて、土佐にはもっと強い部があるんだから。これからは他の部の試合日程も伝達してほしい。（中三　M・N）

父兄の集まる　参観日に

現在において私たちには参観日というものが月に一度ずつある。しかし参観日といっても、父兄は中三になると二人も来られない。これはどういうわけなのであろうか。中一及び中二の時もだんだん父兄の来られる回数が少なくなってきている。いっそのこと、月に一度ずつでなくて一学期にあるような父兄会を三回ほど開いたほうがもっと父兄がよく集まって、参観日の代りの役割を果すのではなかろうか。私たちの小学校の時は、やはり参観日というものがあったが常に二十数名は来られていた。土佐中は私立なので父兄はそう簡単にはこられないだろうが、せめて市内周辺の父兄だけでも常にきてもらいたいものだ。（中三　男子）

うどんは一度に　二個までに

うどんは、一度に二個まで買えて、三個以上買えないようにすればよいと思う。まじめに並んで自分の買える番を待っていても、前にわりこまれたり、前の方に並んでいる人にいっしょに買ってもらったりして、自分の番がなかなかまわってこない。こんなことでは並んで待つだけ損ということになるので、他の人に頼む人がふえるのだと思う。これはだいたい上級生の行ないが悪いからだと思う。下級生は上級生に対して注意しにくいため、やけくそになって他人に頼むのだと思う。まず上級生の方からそれをなおすようにしなければならない。（中三　Y・H）

広島老人の示すもの

平和はみどりから

今年も八月六日がやってくる。六月某日のA新聞に、「一老人の〝執念の緑〟」と題する見出しでドーム横に緑の木々が大きく成長したという記事が載っていた。この記事は、我々に平和を望む者として、明るい希望を与えてくれている。

原水爆禁止大会に今年も革新勢力が政治を介入させて勝手に（二つに分かれて）大会を行なうのだろうか。彼らは間違ってやしないか。被爆地には何十年間か緑のものが芽を出さないといわれてきたそうだが、彼らは被爆地の無木無草なる荒廃した土地をながめて、平和を願うのではなく、爆破国〝アメリカ〟をのろえ！——そんな気持を抱いているのではないだろうか。共に平和を願う者であれば、互いの心の通じ合いはあるものだが……。

〝原水爆禁止大会〟を望もうではないか。最後にこの〝老人〟に拍手をおくって、〝平和の森〟の完成を祈りたい。（高二　H・N）

△以上文責新聞部▽

考える時間ができたよ

意外と元気な先生

西先生病床訪問記

「一番気がかりなのはやはり、地理の授業が遅れる事やねェ。」

ここは日赤内科第一病棟の三人の相部屋。我々に対しているのは地理担当の西先生である。肝障害になった上、胆のうの収縮が悪くなり、ビタミンの吸収が思わしくなくなって五月十八日遂に病棟入りをされたという訪問前に〝肝臓〟と聞いて〝さては飲みすぎ〟と直感していた我々は、いつ白状するかと、ペン持つ手も震えがちである。

「肝臓が悪いと言うと、すぐ酒飲んだろうと返ってくるが、本当の原因は、学校と私生活の面での過労としか思いつかない。

むろん酒は禁じられたがね。」

先生はすらすらとこれだけ言われて我々を見た。心中を読まれてしまったようである。で、話題を変えるべく部屋を見渡す「お見舞は来ますか。」

「今日も高二の映画部員が三人来てくれてね、このあいだなんか、三N全員が見舞に来て。毎日、学校で生徒と話しているような気分だよ。」

見舞の花束が二個も三個も来るときには、小児科にわけてやっているとか。それでも先生の枕許には他の二人よりもずっとよいに花がいけられている。

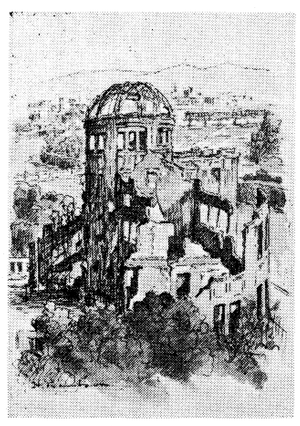
「病気が病気だから、絶対安静ということはなくて、家へもときどき帰してくれるよ。—え？家内はこんなことに悲観するようなタチではないので、この際ゆっくり直しなさいと言ってくれる。その点では気楽だよ。」

背の高い先生がベッドの上にいると非常に小さく見える。色は相変わらず黒いが、ややさめたような感じで、腕も指も確かにスマートになっている。

六月いっぱい退院は無理、一学期中は教壇に立つ事もできぬといわれる先生、我々の心配をよそに、考える時間ができたと当のご本人は笑っておられた。

（M・Y）

地理の授業が気がかりやねェ



原爆ドーム

僕達高校生はヒロシマ、ナガサキの経験をいつまでも忘れないように、そして原水爆禁止大会に対して、その意義を知り、正しい認識を持とうではないか。我々は日本人—おとなの心が一つになりたいのであります。「たしかに君は入試という結果においては敗れた。しかし、やるだけのことはやったじゃないか。」と。そうです、皆さん。勝者には勝者の喜びがあります。しかし敗者にも喜びはあるのです。それは追求した喜びなのであります。

—終—

あらゆる スポーツ用品 の
株式会社 広松運動具店
営業所 高知市本町一一四　電話③代表6151

校友の店
クツの 高雅堂
高知市帯屋町一丁目　TEL②2960

受験参考書　雑誌
島内書店
オビヤ町　TEL ②0648 ③6390

ナショナル
電気器具は
京町
穂積電業社
TEL ②6646

〝土佐名産〟
特製〝金波〟
立石蒲鉾店
高知市京町4
大丸東側　TEL②6279

皆様の
お帽子の店
土佐中高指定
元田帽子店
高知市帯屋町2丁目南側
TEL ②2591

運動会に　海水浴のおともに
折り詰めを！
定評あるうまさ
新店舗
寿し柳
TEL ②0101・0106
南ハリマヤ町四銀南

STEREO
レコードなら
なんでも揃います。
☆土佐高生は優待致しております
ポピュラーから
クラシックまで!!
中の橋電停
南入二軒
電③—1082
イロハニ
レコードの店 エリート へどうぞ！